平城

宍戸昌夫君 鷹雄 君

作曲 作歌

雪解の小路たたずめば 春未だ浅き白楊のはるましまできる。

木の間もれくる夕嵐 しばし聞けとて私語の

なつかしの原始杜肩とりて おぼろおぼろの水芭蕉 あはく足げに咲き出でし

榾火をめぐり歌はなん ほたび

青史をかざす記念祭 今したたへん三十回いま 昔変らぬ風なれやむかしかわ 長髪頬に戯むれて

ちょうはつほほ

たは

ヮ

常緑を祝ふ自治の宴 契の杯に汲み交はし ちぎり っき

尽きぬ男子の黒潮を 美酒の夜は更け行けど